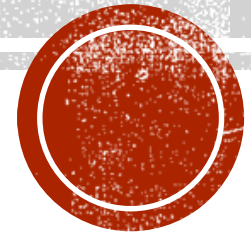


令和2年度 携帯電話等の利用状況アンケート 【 保護者アンケート結果 】



徳島県教育委員会 人権教育課 いじめ問題等対策室

アンケート対象【保護者】

小学校	11校	回答者数	671人（6年生保護者）
中学校	7校	回答者数	645人（2年生保護者）
高等学校	4校	回答者数	660人（2年生保護者）
特別支援学校	11校	回答者数	186人（高等部生保護者）

総回答者数 2,162人

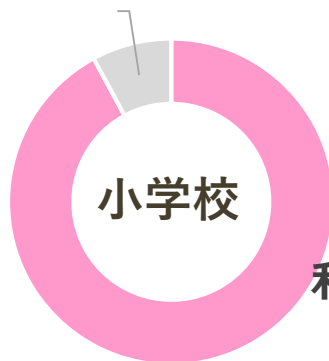
※小・中・高等学校については、依頼校の対象学年の保護者全員にアンケートを実施
特別支援学校については、高等部在籍者のうち学校に携帯電話を持ち込んでいる生徒の保護者にアンケートを実施

※全国調査数値については、内閣府の「令和元年度青少年のインターネット利用環境実態調査」の結果を参照

インターネットの利用

利用していない

7.9%



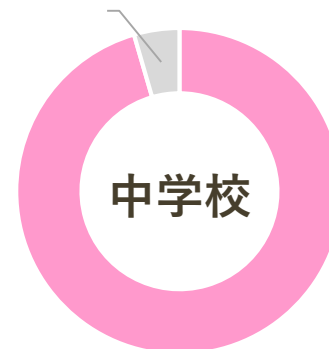
小学校

利用している

92.1%

利用していない

4.5%



中学校

利用している

95.5%

多くの家庭において
インターネットを
利用している。

利用していない

2.0%



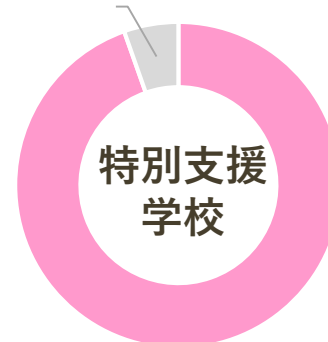
高等学校

利用している

98.0%

利用していない

5.4%



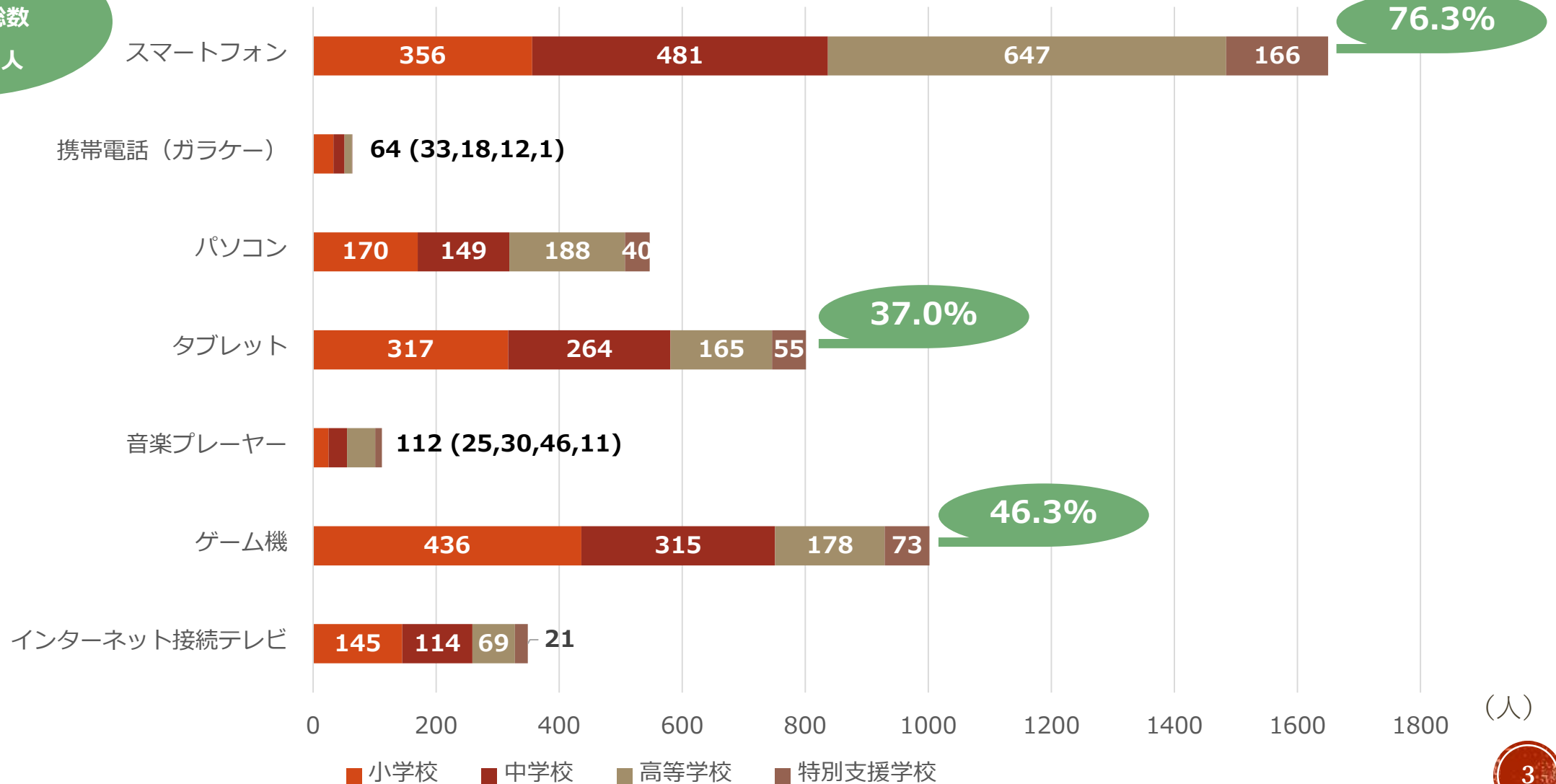
特別支援
学校

利用している

94.6%

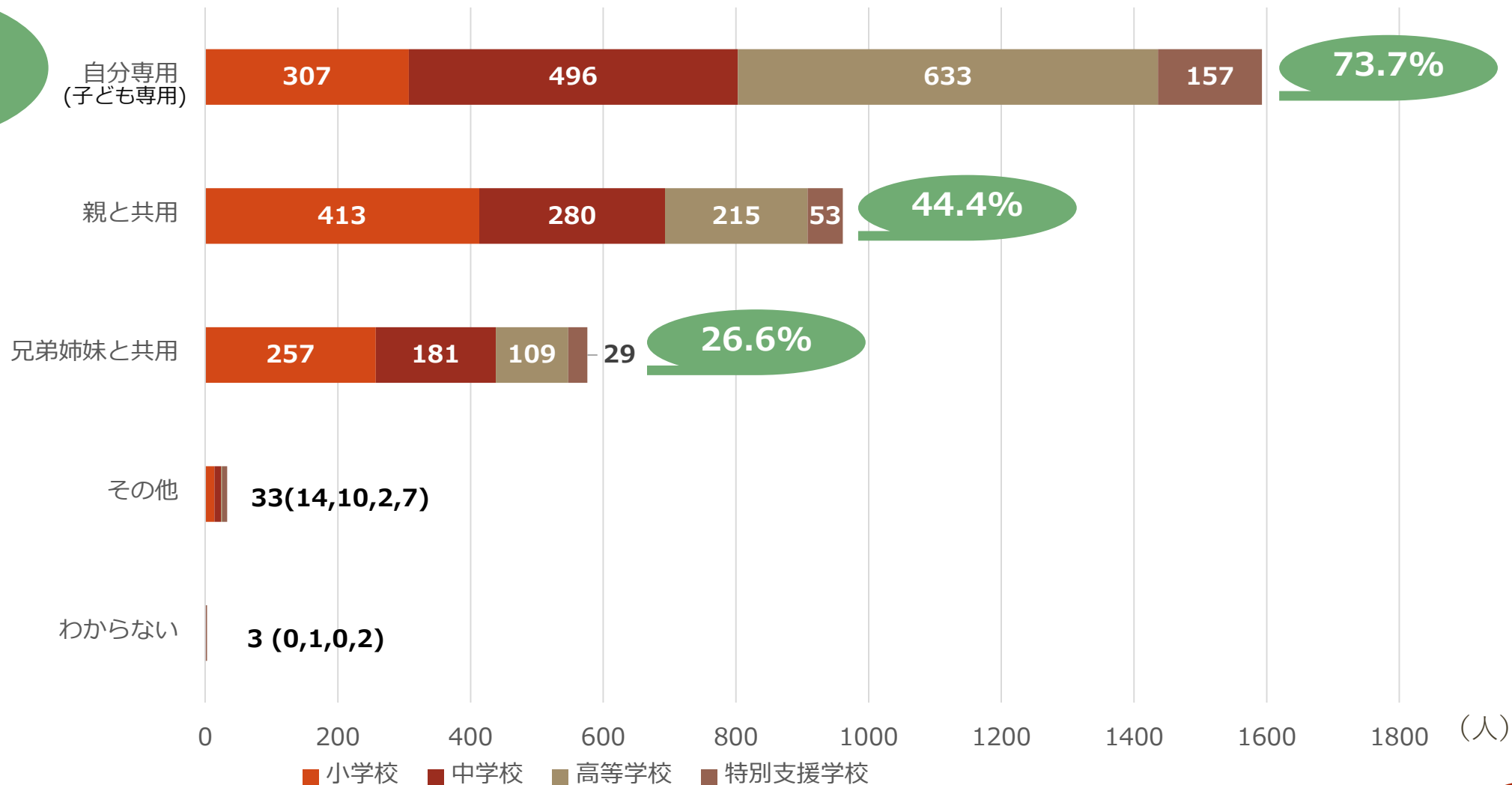
インターネットの利用機器（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



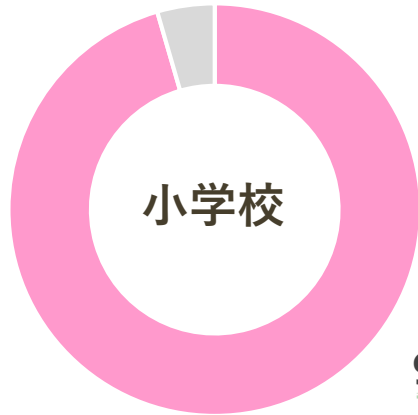
利用機器の所有状況（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



家庭のWi-Fi環境

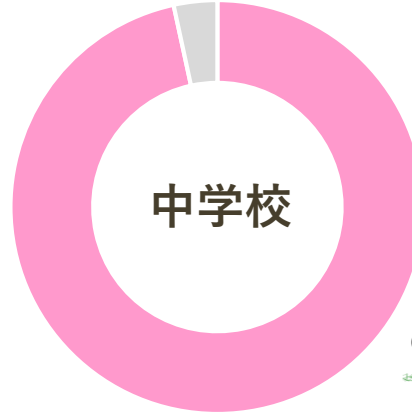
ない 4.5%



ある

95.5%

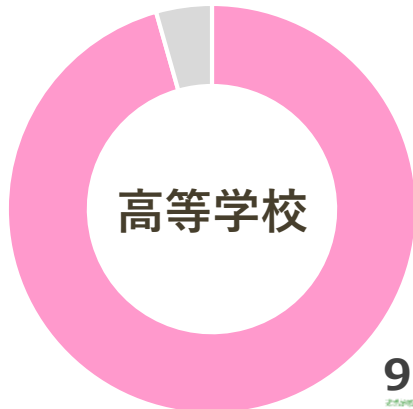
ない 3.4%



ある

96.6%

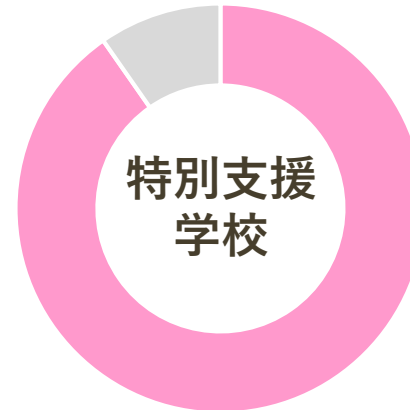
ない 4.4%



ある

95.6%

ない 9.7%



ある

90.3%

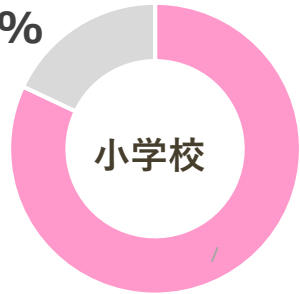
多くの家庭において
Wi-Fi環境が
整っている

全校種平均
《 95.4% 》

インターネット利用に関する家庭のルール

決めていない

18.0%

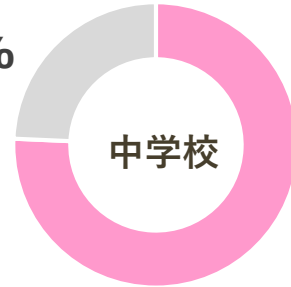


決めています 82.0%

全国保護者:88.3%

決めていない

24.3%

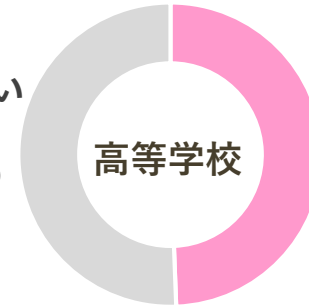


決めています 75.7%

全国保護者:80.4%

決めていない

50.6%



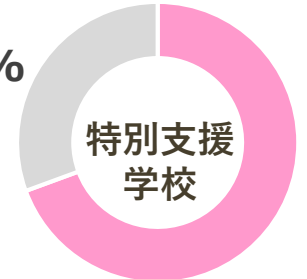
決めています

49.4%

全国保護者:62.6%

決めていない

30.6%



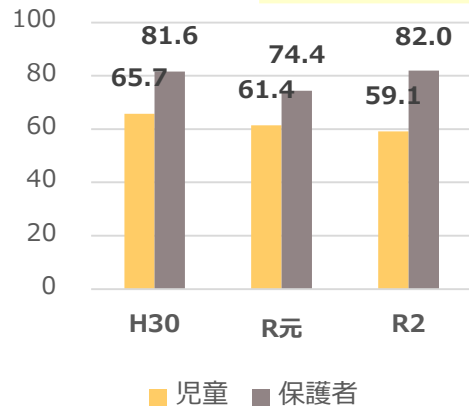
決めています 69.4%

【3か年比較】

全国比較: **高校生**のルール設定率が**低い**

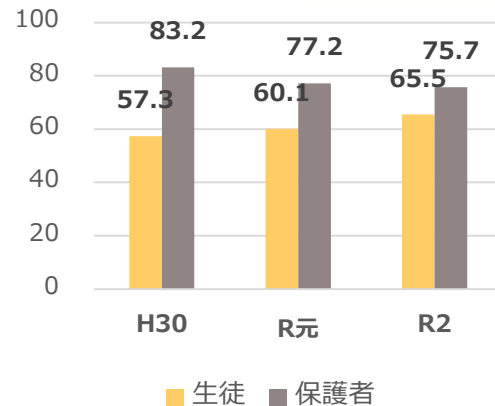
小学校

全国児童:77.7%
保護者:88.3%



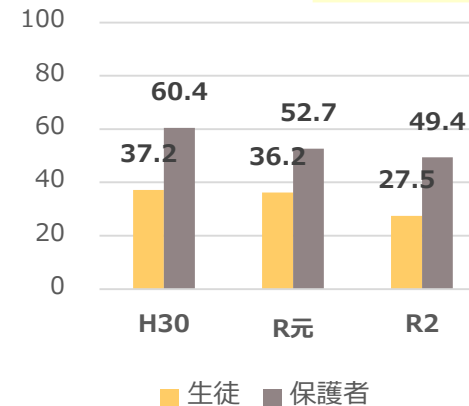
中学校

全国生徒:63.6%
保護者:80.4%



高等学校

全国生徒:38.6%
保護者:62.6%



小学生保護者 82.0%

中学生保護者 75.7%

高校生保護者 49.4%

特別支援学校生保護者

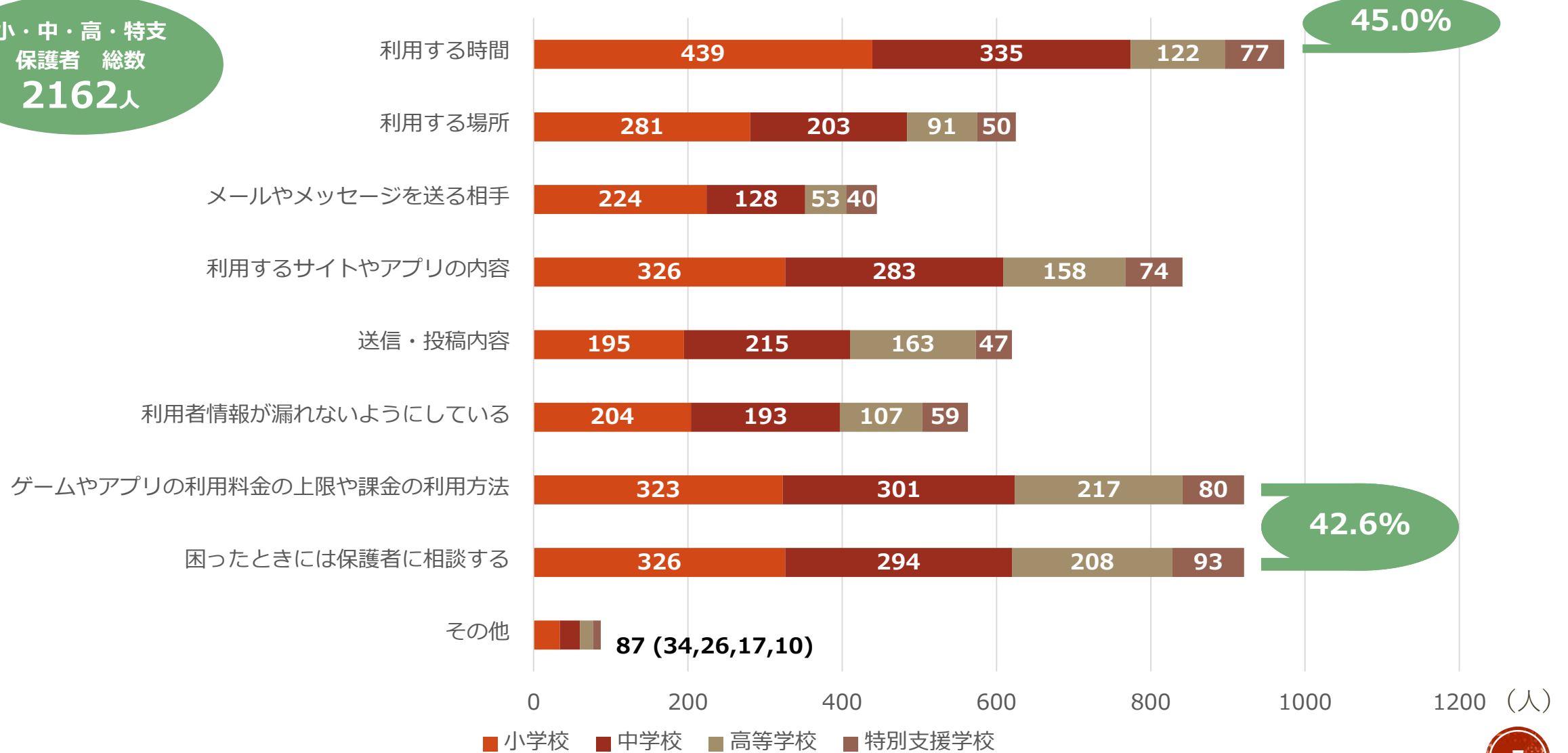
69.4%

年齢が上がるとルール減少

**児童生徒と保護者の
ルールに関する意識の差
あり**

家庭のルール内容（※複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人



保護者としての取組（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人

大人の目の届く範囲で使わせている



41.7%

全国保護者:35.0%

利用する際に時間や場所を指定している



成長段階に合わせて、子供向けの機器やサービスを使わせている



全国保護者:39.6%

52.7%

普段の会話やコミュニケーションの中で、子どもの利用状況を把握している



フィルタリングを使っている



38.6%

全国保護者:37.4%

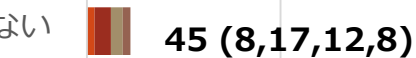
その他の方法で管理を行っている



子どもの携帯電話やインターネットの管理は行っていない



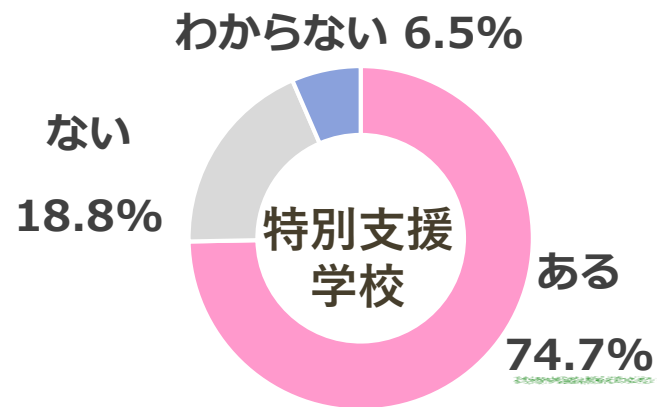
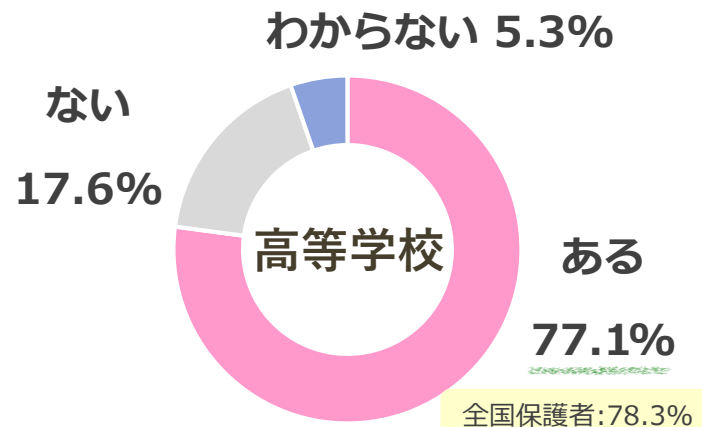
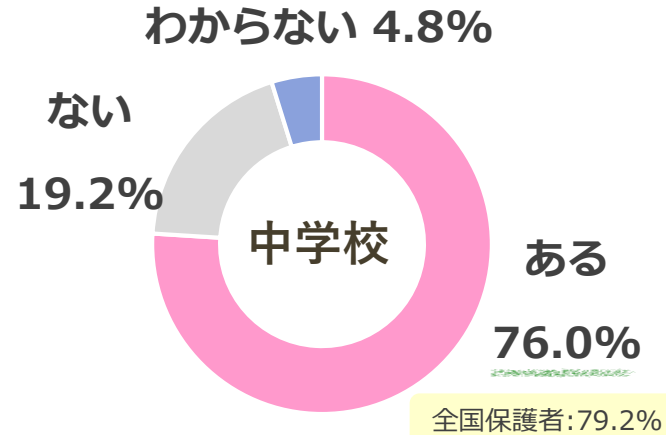
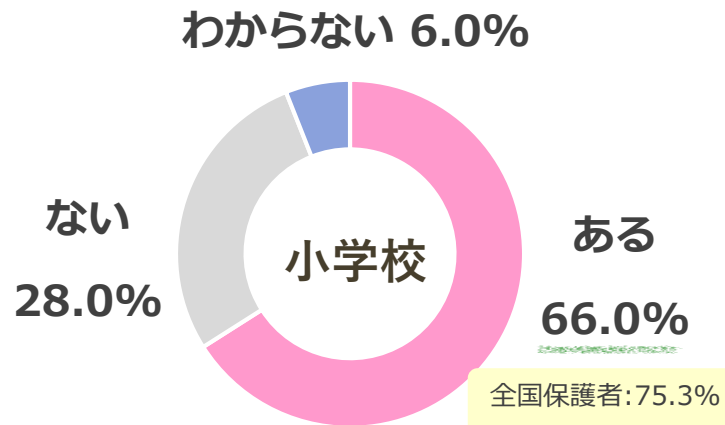
わからない



0 200 400 600 800 1000 1200 (人)

■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校

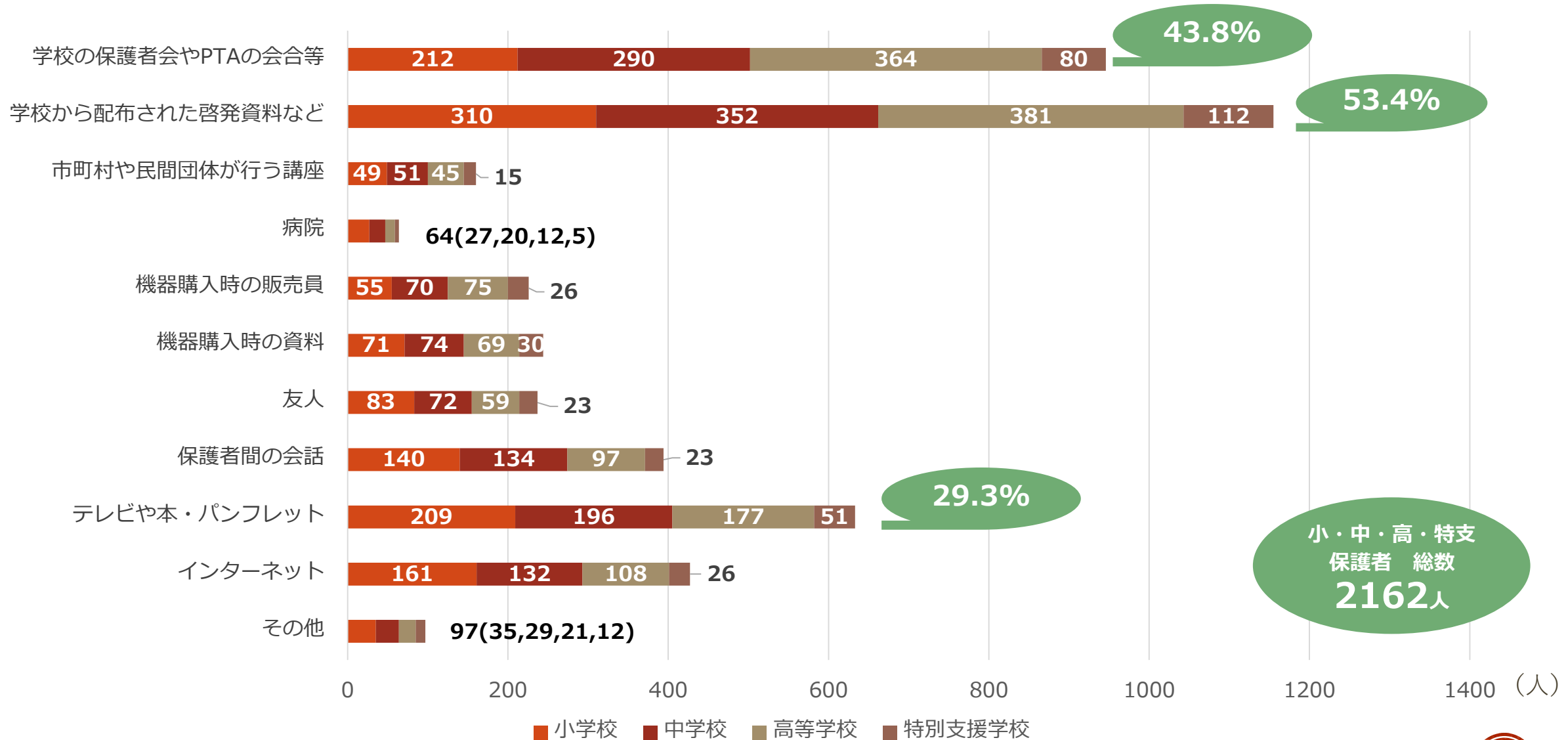
インターネットの危険性を知る機会①



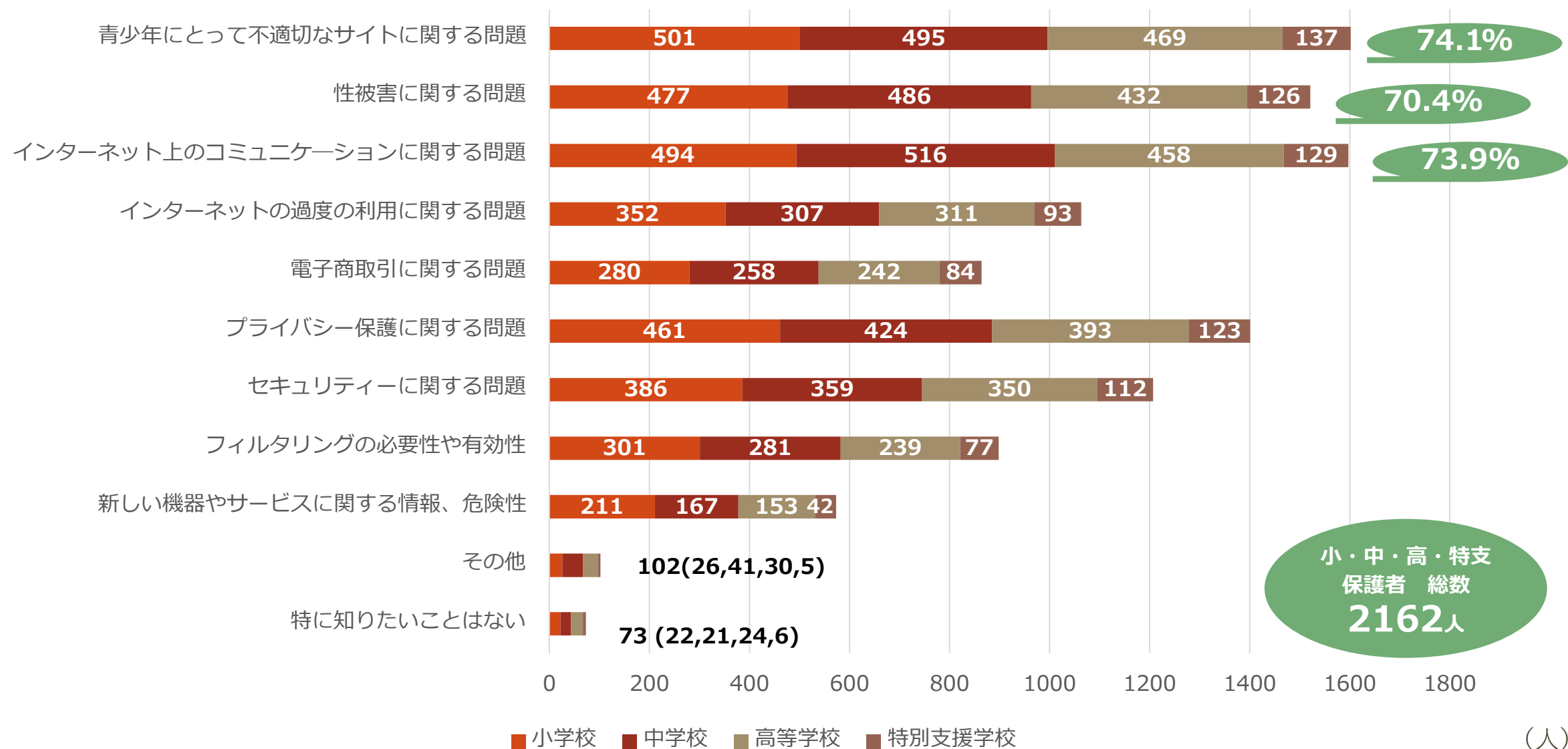
小学生の保護者の
危険性を知る機会が
ない・わからない
あわせて34.0%

中・高・特別支援（高）
の全保護者の約24.0%
が危険性を知る機会が
ない・わからない
と回答

インターネットの危険性を知る機会②（＊複数回答可）



インターネットの危険性の内容（＊複数回答可）

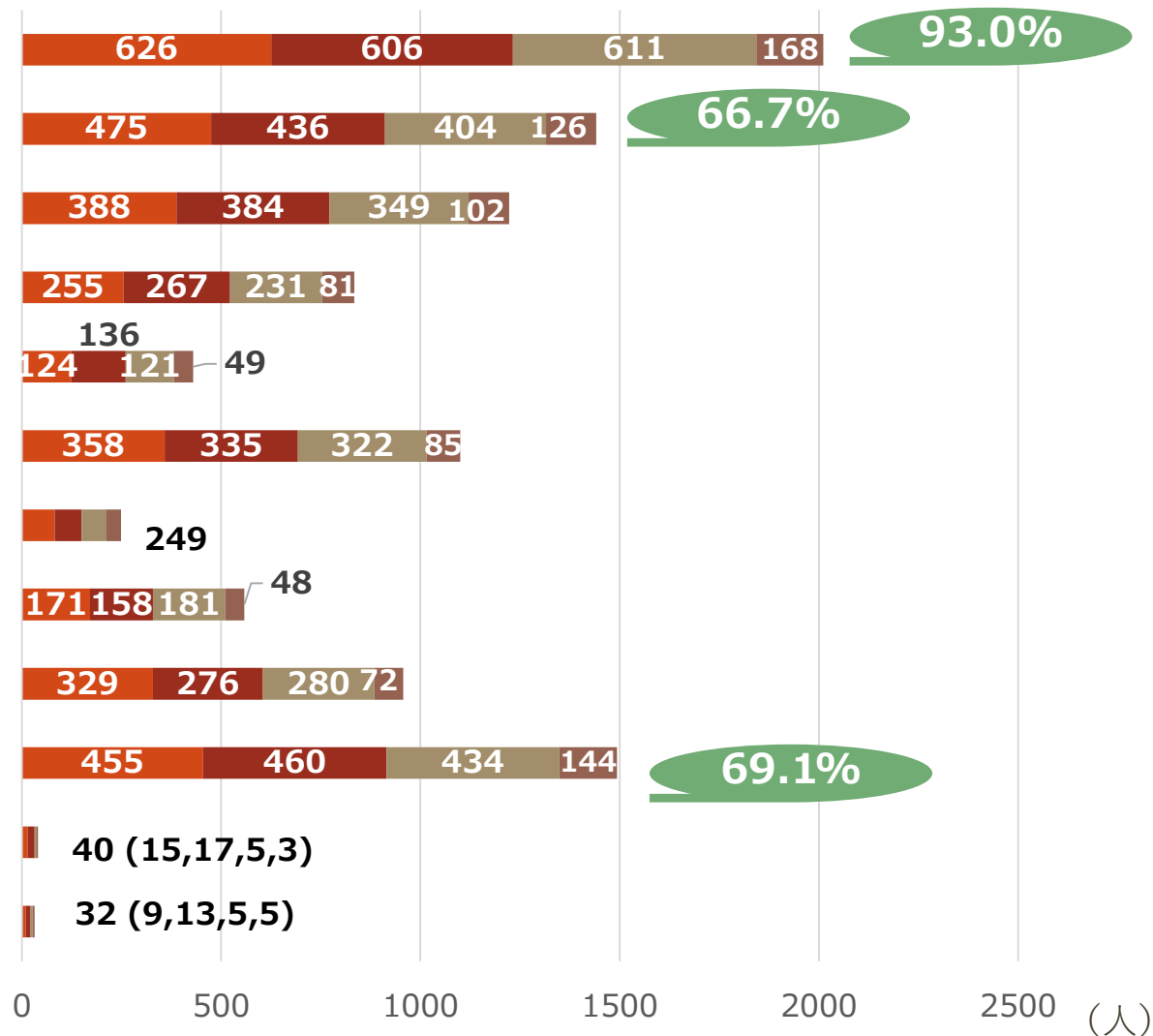


(人)

インターネットの利点（＊複数回答可）

小・中・高・特支
保護者 総数
2162人

- 興味関心があることや知りたいことがすぐ調べられる
- 動画や音楽等を簡単に見たり聴いたりできる
- いろいろな事がわかり、自分の世界が広がる
- 友人や知人とのコミュニケーションが盛んになる
- 家族とのコミュニケーションが盛んになる
- 遠く離れた人ともつながることができる
- 対面では伝えられないこともインターネット上では伝えることができる
- 勉強等が効率的にできるようになる
- 買い物がすぐできるようになり便利になる
- 緊急時の情報が収集でき、家族等との連絡が速やかにとれる
- その他
- 当てはまるものがない



■ 小学校 ■ 中学校 ■ 高等学校 ■ 特別支援学校

安全利用のために保護者としてすべきこと【主な記述内容】

小学生保護者

- コミュニケーションをとりながら正しい知識を伝えていく
- 保護者も正しい知識を身に付ける
(フィルタリング設定,課金,アプリ取得等)
- 必要に応じて使用の判断をする
- フィルタリング等を常にアップデートできるように理解しておく
- 子どもとの信頼関係をもとに管理する
- 親の前で利用させる
- 危険性を何度も教える
- 利用について親も責任をもつ
- 正しく利用できるよう保護者として見守っていく
(利用時間,場所,ルール等)

高校生保護者

- 正しい使い方を話し合う
(課金,有料サイトへのアクセス等)
- 子どもの表情やコミュニケーションから利用状況を把握する
- 長時間利用にならないようにする
- 利用についてのルールを守らせる
- メリット・デメリットを理解させた上で利用させる
- スマホを使用しない時間の確保
- 利用時間を子どもと相談して決める
- ワンクリックやフィッシング等の詐欺サイトを見極める
- 保護者もネットについての知識を身につける

中学生保護者

- 子どもとコミュニケーションをとりながら 使い方を管理する
(課金,アプリ,閲覧履歴等)
- フィルタリングの設定をする(課金,アプリ等)
- 利用時間等のルールを子どもと相談しながら決める
- ワンクリックやフィッシング等の詐欺サイトを見極める
- メリット・デメリットを理解させる
- アプリなどのインストールを管理する
- 子どもの表情やコミュニケーションから利用状況を把握する
- 危険なネットにつながらないようにさせる
- 依存症にならないようにスマホを使用しない時間を確保させる

高等部生保護者

- 正しい使い方を何度も教える(時間,マナー等)
- 安全面に関するルールをつくる
- 保護者も正しい知識を身につける
- 利用に際しての危険性を教える
- コミュニケーションをとりながら家庭でルールをつくる
- 個人情報の取扱いについて教える
- 決められた時間だけ利用させる
- 使用目的を明確にさせる
- スマートフォンをなくしたり貸したりしないよう気をつけさせる
- オンラインゲーム等で知らない人とつながらないように注意させる

*参考 自由記述内容の分析

自由記述の内容をより客観的に捉えるために、A I テキストマイニングを利用して、文字情報を可視化してみました。

UserLocal AIテキストマイニングによる分析について

テキストマイニング：文字情報の出現頻度や関連性を分析すること

図：文字情報をテキストマイニングして可視化したもの

図の見方 ● : 名詞 ● : 動詞 ● : 形容詞

※単語を品詞別に分類

○の大きさ：出現頻度

線：単語同士の関連性

線の太さ：単語同士の関連性の度合い

どの校種の保護者も、時間やマナーなど使い方等について管理する必要性を感じており、家庭教育の中で取り組むべきことと考えているようである。

また、トラブル等を回避するために保護者自身も知識を身に付けることを意識しているようである。

引き続き、携帯電話やインターネットの利用に関する家庭への啓発を行うとともに、より一層の連携を強化していく必要がある。

